



# 駒林小 学校便り

令和3年度  
12月号  
11月30日発行

## 「そう」をめざして

主幹教諭 村田篤子

ちょうど一か月前の今日、駒林小学校では、運動会が行われました。温かいご声援、本当にありがとうございました。また、先日はご多用中、個人面談にご来校いただいた保護者の方も多かったことと思います。ありがとうございました。

個人面談中に、図書室や2階ホール、音楽室にて、子ども達が7月に合唱を行った動画を上映していました。駒林小学校は「音楽の学校」です。コロナ禍で制限がある中、広く間隔をとる等、感染症対策をして、実施しました。どの学年の歌声も素晴らしく、歌っている子ども達の表情には「誇らしさ」を感じます。動画ではなかなかお伝えすることはできませんが、体育館いっぱい広がる歌声にはエネルギーがあって、ふるえる空気を感じながら、心が一つになる瞬間を味わうことができます。

さて、その子ども達が大好きな音楽の時間が終わり、教室に戻ってきた子ども達がこんなことを言っていました。

「先生、〇〇くんに、もっと歌ってほしいんだ。でも、歌ってくれないんだよ。」  
教室で、子ども達の話聞いた後、

「みんなは、『そう』さんがいいんだね。『さい』じゃなくて。」  
という話をしました。歌は「歌いなさい。」と言われて歌っても、楽しくない。だから、声もなかなか出ない。でも、「歌うそう。」と自分の心が決めたら、楽しくなって声もきつと出る。だから、みんなが「そう」さんになれる雰囲気を作るのが大事なんじゃない？と。

子どもは、自分で決めたことは、「がんばろう」「やってみよう」と能動的に行動します。私たち大人はつい「●●しなさい」と言ってしまいがちです。でも「自分で決める」「判断できる」子どもを育てていくことは私たち大人の役割かな、と考えます。駒林小学校に、たくさんの「そう」が現れるよう、子ども達を支援していきます。